



予算案を議会で説明する高木市長

元気で楽しい前橋づくりを

17年度の予算と事業

平成十七年度の各会計予算が先月の市議会第一回定例会で可決しました。総額二千二百八十六億七千八百九十万円余り。ここでは、主な事業や施策などを紹介します。なお、金額の一万円未満は端数整理しました。

平成17年度各会計予算		
会計名	当初予算	
一般会計	1,164億4,854万円	
特別会計	国民健康保険	267億6,453万円
	老人保健	270億8,746万円
	競輪	184億6,886万円
	農業集落排水	13億6,895万円
	介護保険	150億8,182万円
	簡易水道事業等	946万円
	計	887億8,107万円
企業会計	水道事業	103億1,855万円
	下水道事業	122億9,802万円
	農業共済事業	8億3,274万円
	計	234億4,930万円
合計	2,286億7,891万円	

市長説明のあらまし

市議会で高木市長が説明した予算の概要は次のとおりです。

平成十七年度予算は、昨年十二月五日の市町村合併で三十二万人の「新生前橋市」が誕生して初めての当初予算です。合併まちづくり事業計画（新市建設計画）の実質的スタートとなる「合併元年」と位置付け、新地域の一体感と均衡ある発展を目指し、施策の展開に努めます。

本年度を前橋再生の「行動元年」として、中心市街地の再生、地域の発展、地域経済の活性化に本格的に取り組み、「元気で楽しい前橋」を実現していきます。

予算編成の基本的な考え方では、まず、新市建設計画に基づく事業を開始し、より充実した市民サービスを全市域に拡大するなど、新市のスタートに必要な予算を盛り込みまし

た。また、市政改革と市の活性化などの施策に努め、中心市街地の再生や地域経済の活性化をはじめとした主要分野に重点を置き、「活力のある前橋」を目指します。

さらに、行財政改革を進めて、行政のスリム化、効率化に努めます。合併で財産を引き継ぐ一方で、市債も継続し残高が増加していますが、新たに合併特例債を発行しても、二十五億円以上の市債残高を減らします。

この結果、一般会計の予算規模は、総額千六百六十四億四千八百五十三万

五千円で、対前年度比で三・一％の増。前年度の減税補てん債の借り換えなどの特殊要因を除いた実質的な伸び率は二・四％です。合併四市町村を合計した対前年度予算との比較では、マイナス八・三％でした。実質的な伸び率はマイナス〇・六％となっています。

このように、厳しい状況の中にもかかわらず、実効性ある施策を盛り込んだ予算とを考えています。新生前橋市の新たな躍進に向けて、市民の皆さんとともに「元気で楽しい前橋づくり」に全力で取り組んでいきます。